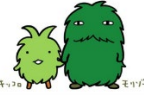




一般財団法人

地球産業文化研究所

Global Industrial and Social Progress Research Institute



令和7年1月27日

報道関係者各位

「愛・地球博20祭」と連携し、一般財団法人地球産業文化研究所が実施する 愛知万博/愛・地球博20周年事業について

1. 趣旨

2025年(令和7年)は、「自然の叡智」をテーマに、持続可能な地球社会の実現に貢献する21世紀初の新しい形の国際博覧会として、2005年(平成17年)に開催された愛知万博/愛・地球博から20周年という記念すべき節目の年です。

一般財団法人地球産業文化研究所(GISPRI)は、財団法人2005年日本国際博覧会協会から資産を継承し、2007年4月から愛知万博の理念継承発展に資する事業を実施してきております。

私は、愛知万博の20周年に向けて、GISPRIにおいて記念事業の検討を進めてまいりました。愛・地球博記念公園(モリコロパーク)及び名古屋市内において、愛知万博20周年記念事業実行委員会を始め関係自治体、関係機関と連携を図りつつ、単に当時を懐かしむだけでなく、愛知万博の理念を未来の世代へ、そして地域を越えて継承・発展させることを視野に入れた事業を実施したいと考えております。

2. 事業の概要

現在準備を進めている事業は、大きく次の2つの事業です。第1の3月の愛・地球博記念公園での事業につきましては、概ね内容が固まりましたので、ここに公表させていただきます。第2の名古屋市内での事業は9月の開催に向けて現在鋭意準備中ですので、内容が固まり次第、後日詳細を公表させていただく予定です。

(1) 3月28日(金)～30日(日)に愛・地球博記念公園地球市民交流センターにおいて実施する事業

愛知万博20周年記念事業実行委員会「愛・地球博20祭」事業の一環として、次の事業を実施いたします。

① モリゾー&キッコロ ミュージカル「またね、こんにちは、」の上演(別添1)

2008年スペイン・サラゴサ万博会場で、モリゾー・キッコロとサラゴサ博公式キャラクターのフルービーが共演し、好評を博した子ども向けミュージカルを、2025年の記念すべき年に相応しい内容にアップデートして上演いたします。

地球市民交流センター体育館において、3月28日(金)から30日(日)の3日間で、各回30分、計6回上演し、初日の3月28日11時から、メディアの皆様ぜひ取材をしていただきたく、初回公演直前スペシャルステージを用意しております。

② Think Planetary Act Individual —地球規模で考え、愛で人を繋ぐ！—

(別添2)

未来に繋がる 3 つの提言『愛・地球ライブフォーラム』を核とし、様々な『ジャンル』の方々がそれぞれのアプローチで、『愛・地球いのちの体験プログラム』、『愛・地球エンターテインメント』、『愛・地球笑顔のリレー』、『愛・地球市民広場』、『愛・地球スーパーネイチャーアカデミー』を展開し、愛・地球博から未来につながるメッセージを来場者と共に体感するイベントを実施します。

(2) 9月7日(日)に名古屋市内 IG アリーナにおいて実施を準備中の事業 (愛知万博/愛・地球博20周年記念の「集い」)(仮称)

愛知万博にご来場いただいた方々、愛知万博関係者の方々が当時を懐かしんで楽しめるだけでなく、愛知万博を知らない新しい世代にも、20 年前に地球的規模の課題の解決に向けた国際博覧会が愛知県で開催されたことを実感し誇りに思えるよう、その理念を世代を超えて共感できる「集い」の実現を目指します。

また、同時に愛知万博の参加国との地域を越えた国際的な絆の広がりを実感し、さらに深めることができるような「集い」の実現をも目指します。

エンターテインメントや国際的な要素を取り入れ、2005 年生まれの若い世代によるパフォーマンス、著名人・有名アーティストの出演、また、博覧会国際事務局(BIE)のトップの出席や、愛知万博で当時、参加国のスタッフとして働いていて、今は大阪・関西万博の参加国の政府代表として活躍されている方へ催事の協力を依頼するなど、準備を進めております。

以上、当財団が実施する20周年事業について、現時点での内容を公表させていただきました。

2025 年が、愛知県の皆様をはじめ多くの方々の心に刻まれる一年となりますよう、愛知万博/愛・地球博 20 周年事業の成功に向けて取り組んでまいりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

一般財団法人地球産業文化研究所
元2005年日本国際博覧会協会事務総長
中村利雄

【ご連絡先】

一般財団法人 地球産業文化研究所

〒103-0015

東京都中央区日本橋箱崎町4 1 番 1 2 号 KDX箱崎ビル6階

電話：03-3663-2500 メール：info★gispri.or.jp

[★] を [@] に置き換えてください。

担当：蔵元（くらもと）、田東（たづか）

愛知万博 / 愛・地球博 20周年

モリゾー&キッコロ ミュージカル

またね、こんにちは、

ミュージカル実施概要

- 公演名 愛知万博 / 愛・地球博 20周年 モリゾー&キッコロミュージカル「またね、こんにちは、」
- 日時 2025年3月28日(金) ①11:00~11:55 ★11:00から 初回公演直前スペシャルステージ
2025年3月29日(土) ②11:00~11:30 ③13:30~14:00 ④16:00~16:30
2025年3月30日(日) ⑤11:00~11:30 ⑥13:30~14:00
- 会場 愛・地球博記念公園(モリコロパーク) 地球市民交流センター 体育館 (愛知県長久手市茨ヶ廻間乙1533-1)
- 参加費 無料(500席×6回公演) 観覧の申し込みについては、詳細が決まり次第、後日ホームページでお知らせいたします。
<https://www.gispri.or.jp/>
- 出演 モリゾー、キッコロ、フルービー、セック、森の動物たち、そして、会場のみんな!
- 内容

モリゾー・キッコロが、2008年スペイン・サラゴサ万博で同博公式キャラクターフルービーと共演した子ども向けミュージカルが、2025年に相応しい内容にバージョンアップされて3月28日から30日の3日間、モリコロパーク地球市民交流センター体育館で上演されます(入場無料)。サラゴサ万博会場では、日本から皇太子殿下(当時)にもご覧いただきました。モリゾー・キッコロ、フルービー、そして森の動物たちが、豊かな森と清らかな水を一緒に未来につなげていく大切さを楽しみながら感じていただける子ども向けエンターテインメントショーの新作です。

※写真はイメージです



作・作詞・演出

武田直樹

脚本家・演出家・演技講師。名古屋市出身。主な作品に、愛・地球博閉幕一周年記念事業モリゾー&キッコロミュージカル「あした♪今夜の「夢」を未来に♪」、サラゴサ万博公演ミュージカル「Mañana」、上海万博公演デジタルサイネージミュージカル「ココロのまほう」作・演出・作詞。ちびまる子ちゃんミュージカル(全国、中国他) 脚本・演出・作詞、超ミュージカル版ケロロ軍曹(全国) 脚本・演出・作詞などがある。

作曲・音楽監督

小坂明子

西宮市出身。大阪音楽大学高校ピアノ科在学中、16歳の時「あなた」でワーナーパイオニアからデビュー。200万枚を売り上げ、ポップス史に残る名曲となる。1983年から作詞・作曲・編曲家として松田聖子・中森明菜等のJポップやアニソンのミュージカルをてがけ、携わった曲数は2500曲を超える。2006年よりピアノインストアルバムを発売、海外でも好評を得る。2013年「のんのんじゅんるプロジェクト」を開設し、ヴォーカルスクール開校、新人育成に力を注いでいる。近況作品：ももクリテマソング、劇場版美少女戦士セーラームーン Cosmos 等。

製作概要

作・作詞・演出 武田直樹 / 作曲・音楽監督 小坂明子 / 制作総指揮 川田すなほ / プロデューサー 宇野昇 野村篤 / 振付 森翼 / 舞台美術 根来美咲 / 舞台監督 イトウ企画 / 大道具 イトウ舞台工房 / 衣装 ポワソン・ルージュ / ポスターデザイン 白井正美 / イベント運営・進行 松田武裕 柴田純二 / 制作管理 新倉淳 / 施工 近藤産興 / 音響 アセイサウンド / 照明 ライトクエスト / PR オレンジ・コミュニケーションズ / 出演 (着ぐるみ) 篠原ありさ 長濱愛美 八木杏菜 渡邊麻美 / (森の動物たち) 加藤幸司 玉井七海 大木梨名 谷澤翼 三橋とら 内藤もゆの

主催 一般財団法人地球産業文化研究所 (GISPRI)
制作 ADKマーケティング・ソリューションズ ADKクリエイティブ・ワン 劇団飛行船
後援 愛知県 長久手市 長久手市教育委員会 瀬戸市 瀬戸市教育委員会 豊田市 豊田市教育委員会 (いずれも申請中)
協力 愛知万博20周年記念事業実行委員会

※公演は、内容・時間等を予告なく変更する場合がございます。

ミュージカル取材の
お問合せ

モリゾー&キッコロミュージカル「またね、こんにちは、」PR事務局

<株式会社オレンジ・コミュニケーションズ内 担当/岩佐・桑原(10:00~17:00、土日祝を除く)>

電話 : 052-990-6113/ファクス : 052-770-0089/メール : info@orange-com.jp

～愛・地球博20年の検証と未来へのメッセージ～

Think Planetary Act Individual 地球規模で考え、愛で人を繋ぐ！

期日 2025年3月28日(金) 29日(土) 30日(日)
会場 愛・地球博記念公園 地球市民交流センター

愛・地球博の開催意義とその後20年間の歩み、さらにこれからの地球の未来のあるべき姿を視野に「自然の叡智」の継承・発展を検証し、『**博覧会の意義を今一度地球規模で考えて、それを人々どの様に繋いでいく事ができるか**』を考える機会としたい。

未来に繋がる3つの提言『愛・地球ライブフォーラム』を核とし、**様々な『ジャンル』の方々がそれぞれのアプローチで**、『愛・地球いのちの体験プログラム』、『愛・地球エンターテインメント』、『愛・地球笑顔のリレー』、『愛・地球市民広場』、『愛・地球スーパーネイチャーアカデミー』を展開し、愛・地球博から**未来につながるメッセージを来場者と共に体感するイベントとする。**

① 愛・地球ライブフォーラム「未来へ繋がる3つの提言」 体験学習室Ⅰ～Ⅲ

(各回120人 事前申し込みについて詳細は後日発表)

3/28 (金) 13:00~14:30 自然の叡智から未来へ 地球の未来へ繋ぐ人の愛

愛・地球博はなぜ成功したのか！21世紀最初の国際博覧会として、自然の叡智を掲げ様々な課題解決はなぜ出来たのか…。それぞれの地球の愛し方が示された**愛・地球博からつながる未来へのメッセージ**を深掘りします。

【パネラー】

中村利雄
元2005年日本国際
博覧会協会事務総長

竹下景子氏

【コーディネーター】

古澤礼太氏



©篠山紀信

3/29 (土) 11:00~12:30 地球市民から未来へ 地球を巡る食と健康

愛・地球博を起点に、「自然の叡智」を継承し、今なお活動する地球市民活動と、その歩みと成果を検証し、**その上で、地球規模で博覧会を考えた時、どの様にその成果を広げて行くかなど、未来へのメッセージを発信します。**

【パネラー】

森川高行氏 稲本正氏 佐藤久美氏

【コーディネーター】

福井 昌平氏



3/30 (日) 11:00~12:30 万博未体験世代から未来へ 未来の繋がりに向けて出来る事

万博の理念を未来へ伝えていくため、愛・地球博を知らない若い世代にもEXPOの意義を改めて考えて頂き、**現在の環境保全活動、サステナビリティがなぜ今に繋がっているのか、著名ゲストとともに考え、情報発信など含めて、未来をどう繋げていくのか考える**

【パネラー】

愛知県内学生を主体とするプロジェクト
エコのつぼみ、きらきら☆したら、GAIA (ガイア)

【コーディネーター】

矢野きよ実氏

20歳著名ゲスト

愛・地球博開催当時生まれで現在一線で活躍中の若者タレントの参加を調整



鈴木福氏、N.Y.名門小学校のビデオメッセージも紹介

② 愛・地球いのちの体験プログラム「モリコロと学ぶAEDの使い方」 屋内広場

3/29 (土) のみ 13:00~14:00

21世紀はじめての愛・地球博ではAEDが設置され期間中「いのちが救われています」。改めてその成果を継承し、救急医療関係者及び一般市民に対して、災害・救急医療に関する研究及び普及等の事業を行う(一財)2005年日本国際博覧会記念災害救急医療研究財団により、事前公募の受講者に対し、AED講習を実施しEXPOの成果を検証

- 【コーディネーター】 講習内容
矢野きよ美氏
- ・参加者50名/29日13:00~14:00
25名×2回 (事前公募)
 - ・応募条件 小中学生を含む
グループまたは家族
 - ※長久手消防署と連携し、消防の
普通救急講習(入門編)とする



記念品として、終了証及び愛・地球博20祭と地域市町村モリコロの限定ピンパッチを進呈予定



③「愛・地球エンターテインメント」 LOVEARTHガーデン 屋内広場ほか

3/28・29・30 (3日間) 10:00~16:00 (詳細の時間は後日発表)

愛・地球博で開局したFM局「FM LOVEARTH」をイメージし、佐野瑛厘ナビゲーターによるラジオ番組風のステージで、エンターテインメントを展開

- ・万博メモリーズ プロローグライブ
愛・地球博テーマソングなどを、日替アーティストが演奏
- ・愛・地球博に出演した市民団体芸能
フジオカーナ、LEE O 他
- ・ワールドパフォーマンス
アフリカ、キューバ、パリ、イタリアなど国際色豊かなステージ
- ・モリゾーキッコロショー20thスペシャル
モリコロと楽しむ2005年と今の比較をテーマとするクイズゲーム
- ・当時の愛・地球博記録映像&モリコロアニメ上映(体験学習室)
- ・中村 耕一弾き語りライブ 3/30(日)のみ 15:30~16:00
様々な社会貢献活動にも参加する中村氏のライブ



YouTube



④ 愛・地球 笑顔のリレー「地球の笑顔」 関口照生 多目的スタジオ

3/28・29・30 (3日間) 10:00~16:00

「20年前、愛・地球博の会場は、素晴らしい笑顔であふれていました！」

その笑顔は世代、時代を超えて日本中、世界に今も広がり続けています。

20年前から世界の人々の笑顔を撮り続ける写真家 関口照生氏の民族、性別、年齢と、

あらゆる垣根を超えて、誰もが笑顔で暮らせる笑顔のリレー「地球の笑顔」写真展を展開



地球の笑顔

⑤ 愛・地球市民広場 多目的室、テントブース

3/28・29・30 (3日間) 10:00~16:00 (詳細の時間は後日発表)

20年前市民活動として万博に携わり、その実績が現在の活動に継承されている市民団体、生物多様性SDGs、世界の支援活動に従事する団体が出展、ワークショップ、体験などを通して活動を紹介していただきます。

■アマアフリカ、■フェアトレード関連団体他 ■公園マネジメント会議等の団体、機関

⑥ 愛・地球スーパーネイチャーアカデミー 体験学習室ほか

3/28・29・30 (3日間) 10:00~16:00 (詳細の時間は後日発表)

「自然の叡智」から改めて学ぶ！人が学ぶべき「生き物や自然界の偉大なチカラ」を、スーパー(素晴らしい)ネイチャー(自然の力)とし、その意味を子どもたちに伝えるアカデミーを開校！愛知教育大学理科教育講座博士の大鹿聖公教授が監修、学生との協力により、座学、フィールドワーク、アートワークと幅広い形で展開

大鹿教授



日替わりテーマ(予定)
「里山の生き物に学ぶ」
「まちで暮らす生き物」
「海は生き物の宝庫」



いずれも、内容・時間等を予告なく変更する場合がございます。